

第4次国有林野事業流域管理推進アクションプログラム（熊毛流域）

1 流域の特色（国有林 42千ha、民有林 32千ha）

熊毛流域は、九州本土最南端佐多岬から南東方向43kmの海上に位置する種子島と馬毛島、同じく佐多岬の南方65kmの海上に位置する屋久島と口之永良部島の島々を包括する1市3町（西之表市、中種子町、南種子町、屋久島町）からなっている。

種子島は、北北東から南南西に55kmに細長く伸びた比較的平らな島で、海拔200m程度の緩やか丘陵地帯である。

屋久島は、東西28km、南北24km、周囲132kmのほぼ円形型で全島ほとんどが花崗岩からなり、九州最高峰の宮之浦岳（1,936m）をはじめ幾つもの山岳が連なっている。

区域面積は、99,488haで鹿児島県の総面積913,291haの11%を占めている。

本流域は、亜熱帯海洋性の気候で温暖多雨の種子島と、亜熱帯性気候から亜高山帯気候が垂直的分布を呈している屋久島があり、特に屋久島では、海岸部で年間4,300mm、山頂部付近では10,000mmにおよぶ雨を降らせ、植物の育成に適した自然環境にある。

2 流域内で優先的に取り組むべき課題

- 鳥獣被害対策の実施、希少野生動植物の保護
- 世界自然遺産地域の生態系の保全（人と自然の共生）
- 森林整備推進協定の締結等による森林共同施業団地の設定
- 島内需要拡大及び島外への出荷
- 林業事業体の育成
- 土埋木生産の継続
- ボランティア活動等（ヤクタネゴヨウ調査隊、アサヒビール(株)等）への支援

3 国有林野事業に対する流域内のニーズ・要望

- 間伐材等地域木材の利用促進
- 森林施業の効率化に向けた取組（低コスト作業システムの普及）の推進
- 林業事業体の育成
- 野生鳥獣との共存に向けた取組（シカ対策等）の推進
- 森林環境教育の推進

4 国有林野事業が率先して行う取組

①計画的な木材供給の推進

ア) 目標：間伐材等地域木材の利用促進及び流通体制の確立

イ) 連携・協力機関：鹿児島県熊毛支庁、各市町、島内林業関係者

ウ) 取組方向：地材地消の推進及び島外出荷に向けた官民一体となった取組を推進する。

②森林施業の効率化・共通化等の取組

ア) 目標：森林共同施業団地の設定及び新生産システムに向け、地図情報や森林施業内容等のデータの共有

イ) 連携・協力機関：鹿児島県熊毛支庁、各市町、屋久島森林組合

ウ) 取組方向：森林整備推進協定の締結等に向けた取組。

また、公所有林・民有林を含めたデータベースの構築を図るために情報の共有に努め、計画的な生産活動等に協力する。

③林業技術の開発・普及・啓発、林業事業体の育成

ア) 目標：事業の安定的供給及び緑の雇用等への協力

イ) 連携・協力機関：島内の林業事業体等

ウ) 取組方向：長伐期施業による計画的な間伐の推進に努めるとともに、緑の雇用担い手対策事業の実施に伴う研修のためのフィールドの提供等を積極的に行う。

④安全・安心への取組

ア) 目標：地域住民へ治山・治水に関する情報を発信

イ) 連携・協力機関：屋久島町

ウ) 取組方向：治山事業等における環境に配慮した工法や木材を利用した工法をさらに展開する。

また、地域住民に対して治山工事等の見学会の開催や広報等を通じて情報を発信する。

⑤生物多様性保全に配慮した取組の推進

ア) 目標：鳥獣被害対策や生態系保全のための情報交換等の実施

イ) 連携・協力機関：野生動物保護管理ミーティング、関係機関、猟友会、環境省、屋久島町、NGO等

ウ) 取組方向：野生動物保護管理ミーティングを通じて、関係機関や猟友会等と連携して、鳥獣被害対策の効率的な取組を行う。

また、生態系の保全に向けた活動の方向性や手法について連携を図るため、関係機関との情報交換を実施する。

⑥上下流の連携強化のための下流住民等に対する情報提供、林業体験活動等

ア) 目標：教育関係機関と連携した森林環境教育の推進

イ) 連携・協力機関：学校関係者及び屋久島環境学習ネットワーク関係機関等

ウ) 取組方向：各学校からの要請に応じてお届け講座等を実施するほか、屋久島環境学習ネットワーク会議において年間計画を作成し、今後も協力しながら計画的な環境教育の推進に努める。

| | | | |
|----------|----------------------|------|----------|
| 流域名・流域番号 | 熊毛流域（154） | 担当部署 | 屋久島森林管理署 |
| 計画期間 | 平成22年4月1日～平成25年3月31日 | | |